

## 京北観光連絡会とは

この地域には、古くから受け継がれてきた自然、歴史、産業、景観、文化、そして地元産品など、多くの「知る人ぞ知る」魅力が詰まっています。私たちは、京北の貴重な魅力を再認識し、それを広く多くの方々に伝えることを目的としています。会員は、「京北を愛し、京北を守りたい」という思いに共感した有志が集まった団体です。一人ひとりが手を取り合い、京北の産業、経済、文化の発展を目指して、月一回の意見交換会や各種イベント活動に励んでいます。京北観光連絡会では、先日主催した「鯖寿司大博覧会&京北マルシェ」に、多くの方々にご来場いただき、大盛況のうちに終えることができました。このイベントを通じて、京北の魅力を多くの方々に改めて感じていただけたことを、大変嬉しく思っております。また、「山国さきがけフェスタ」では、観光客向けのライドシェア実証実験を実施し、その取り組みが京都新聞にも掲載されました。地域の新たな可能性を広げる試みとして、多くの注目を集めました。私たちは、楽しみながら地域の活性化に貢献できる団体ですので、ぜひお気軽にご入会いただき、一緒に活動を楽しんでいきましょう。

京北観光連絡会 会長 井口和司

京北観光連絡会が主催、後援したイベントや実績

- ・日帰りホテルツアー（主催）
- ・鯖寿司大博覧会&京北マルシェ（主催）
- ・山国さきがけフェスタライドシェア実証実験
- ・デコトラチャリティー撮影会（後援）
- ・京都京北ナビにてリアルタイムな桜情報の発信
- ・公共交通機関を利用した観光コースの整備
- ・ウッディー京北前での特産品の販売
- ・京北観光ガイド

会員数は6団体、33事業所、  
個人20名、協賛6です。  
(2024年12月現在)



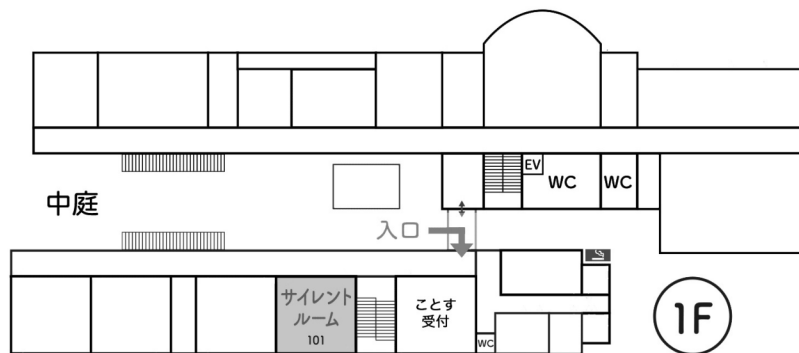
## キモノde京北とは

「キモノde京北」は、京北の家庭に眠る着物を活用した、サステナブルな観光体験です。SDGsの理念を取り入れ、着物を楽しみながら、京北の美しい自然や歴史的な場所、地元のお店を巡る特別なひとときを提供します。着物に興味があるけれど手にする機会がない方や、自分で着るのが難しい方でも、着付けのサポートを受けて安心してご参加いただけます。着物姿で京北の魅力を堪能し、日本文化に触れる新しい形の観光体験をお楽しみください。この企画は京北観光連絡会が主催しています。また、「キモノde京北」を通じて、皆様のご家庭の押入れや箆笥に眠る着物を生かし、多くの方に着ていただきたいと考えています。不要になった着物、小物、風呂敷がございましたら、ぜひご提供ください。



## 着物、小物、風呂敷の引取りについて

2024年12月18日（水）11時から14時まで、京都里山SDGsラボ「ことす」の中庭入口に入って右手にあるサイレントルーム（101号室）にて受付を行います。ぜひお気軽にお持ち込みください。また、今後も随時、着物の引き取りを実施する予定です。お時間の合う際にご提供いただけますと幸いです。皆様の温かいご協力を心よりお待ちしております。



ことす1階サイレントルーム（101）にて受付します。